

大阪府万博推進本部会議（第1回）議事概要

【政策企画部長】

- ・ 第1回大阪府万博推進本部会議を開催する。
- ・ 11月23日のBIE総会において、日本が大阪万博を勝ち取ったということをご報告する。
- ・ 第1回目の投票では、156票のうち日本が85票、ロシア48票、アゼルバイジャン23票。上位2か国の決戦投票が日本とロシアの間で行われ、日本が92票、ロシア61票だった。
- ・ この間、各部局では、誘致委員会の会員登録、署名活動、イベントを通じての機運醸成など、様々な取組みをされ、本当に感謝。こうした取組みの結果が今回の誘致の決定につながったものと考えている。
- ・ これから、2025年の万博を成功させるため、本格的な開催準備がスタートする。まず主体である万博協会を速やかに経済界と立ち上げたい。
- ・ これにあわせて庁内組織も、これまでの万博誘致推進本部を改組し、万博の成功を全庁で支える大阪府万博推進本部を設置したい。要綱はお手元の資料のとおり。今日を皮切りに、全部局合わせて一緒になって準備をスタートしたいので、ご了承をお願いしたい。
- ・ 推進本部のもと、協会と連携しながら会場計画、アクセス、出展などについて、状況によって部会などを設けさせていただくなど、各部局の意見も反映させながら進めていきたい。
- ・ 引き続き、全庁一丸でのご協力をお願いします。

【新井副知事】

- ・ みなさん、お疲れ様でした。
- ・ 何回も言っているように、博覧会は半年だけの取組みではない。これをメルクマールにして、ビジョンを実現するというのを、博覧会前も、博覧会後も続けていくことになる。
- ・ 引き続き経済界、府民、市民、WAKAZOという若者のグループもあるので、各部局が所管している団体等と連携しながら取り組んでいただきたい。
- ・ 万博が決まったから終わりではなくて、これからがスタート。特に、本府は「いのち輝く未来社会を目指すビジョン」を作っているの、そういう意味の課題解決に向けて取り組んでいただきたい。
- ・ それと、大阪市との関係をしっかりと。特に夢洲まちづくりを含めて大阪府との連携があるので、大阪市の施策やまちづくりとの連携をよろしくをお願いしたい。

【竹内副知事】

- ・ なんでもスタートダッシュが大事。みなさん一致団結してやっつけよう。

【濱田副知事】

- ・ 万博の開催地決定、本当に良かった。健康医療やSDGsなど、万博のテーマと関わることは府政でも色んな場面で関係してくるので、推進力をもってしっかりやっていきたい。

【知事】

- ・ 先月11月23日、2025年国際博覧会をこの大阪で開催することが決定した。万博は、世界最大級のビッグイベントで、半年間で世界中の人が参加される。
- ・ こういうイベントを誘致する場合、手を挙げる前に、様々なリスクなどの中身を事務方で2年間ぐらい協議するのが普通。しかし、今回は、4年前に僕と橋下さんが、「万博やるんだ」と先に表で言って、そのあとで職員の皆さんが「これはえらいことになったけど、どうするんや。」ということで始まった。

- ・ また、本来はスタート時点からコンサル等を入れて資料を作るが、そういう時間も経費もグッと抑えながら、職員でたたき台の設計図を作った。そこからスタートして本当に4年で実現できたというのは、大阪府・大阪市の職員のポテンシャルの高さが証明できたのではないかなと思っている。
- ・ さらに、今年は、地震・豪雨災害・台風の大災害3つを乗り越えながら万博の誘致を勝ち取った。G20の準備や、IRの推進など、圧倒的に仕事量が増える中でこの万博を勝ち取れたことで、府市の職員の能力の高さを改めて示すことができたと思う。皆さんの能力があれば、必ず万博を成功させることができると思う。
- ・ 民間のみなさんも、報道等で見ると、わが社の技術を万博で世界中に広めたいとか、自主的に万博に参加したいなど、どんどん情報発信をしてくれている。そういう情報を聞き逃すことなく、推進本部で様々な情報をしっかりと集約し、民間の挑戦する・チャレンジしたいという熱い思いをすべて取りまとめて、2025年万博は1970年の万博を超える、世界中を驚かす、そういう万博を実現したいと思っている。
- ・ 引き続き一人一人のマンパワーをさらにスキルアップして万博に向けて頑張っていたきたい。
- ・ 本当にみなさんのおかげで勝ち取ることができました。ありがとうございます。

【政策企画部長】

- ・ 以上で万博推進本部会議1回目を終了する。